

新型コロナウイルス感染症 ～今、歯科医から伝えたいこと～

新型コロナウイルス感染症の流行により、県民の皆様の生活も激変し不安な日々をお過ごしのことと存じます。

歯科医療スタッフにとって感染リスクが高いとされる歯科医療現場ですが、私たちは以前から、ウイルス感染対策（肝炎・H I V等）をおこなっています。幸いにして、現在のところ国内の歯科医院において、私たちから患者さんに感染した事例はありません。

診療・口腔ケアの継続・延期など、ご自身での判断をなさらずに、
かかりつけ歯科医にご相談ください。

- 糖尿病など持病がある人は、歯周病が悪化しリスクを高めます。
- 口腔ケアの不足は細菌性の肺炎を引き起こし、ウイルス性肺炎が重症化しやすくなります。
- 介護現場等での口腔環境の悪化は、特にリスクを高めます。

**誰もがこの感染症にかかる可能性がある今だからこそ、
命を守るためにも、口腔ケアが大切です。**

新型コロナウイルスに関する新しい知見を踏まえた、より高度な感染防止対策を講じるため、一時的に診療内容の制限や休診などをおこなうこともありますので、その点をご容赦ください。

私たち歯科医は、これからも県民の皆様の健康を守っていくために
全力で安心・安全な歯科医療体制を提供してまいります。

一般社団法人広島県歯科医師会



<https://www.hpda.or.jp>